

三峰川総合開発NEWS

いのちとくらしをまもる
防 災 減 災



国土交通省
三峰川総合開発工事事務所

<http://www.cbr.mlit.go.jp/mibuso/>



優良工事等の表彰式を開催 ～ 優良企業・技術者を表彰します ～

1. 概 要

三峰川総合開発工事事務所では、昨年度完成した工事・業務において優秀な成績を収められた企業および技術者の皆様への表彰式をおこないます。

高い施工技術はもとより、適切な工程管理や創意工夫など、他の企業の模範となる取り組みを実施した企業および技術者の皆様に対象としています。

また、受注企業の協力会社として、高度な専門技術や臨機の対応等により、品質の確保や向上に貢献いただいた企業および技術者の皆様も併せて表彰いたします。

2. 日 時 令和4年7月20日 14時00分 開式

3. 場 所 国土交通省 中部地方整備局 三峰川総合開発工事事務所

4. 受賞者 別紙、受賞者一覧のとおり

5. 解 禁 令和4年7月19日 10時30分

6. 配布先 伊那記者クラブ

7. お問い合わせ先 国土交通省 中部地方整備局 三峰川総合開発工事事務所
・副所長（事務） 植田 隆一（うえだ たかかず）
・総務課長 中川 利博（なかがわ としひろ）
〒396-0402 長野県伊那市長谷溝口1527
T E L 0265-98-2921（代表）



開催場所（google map）
表示用QRコード

受賞者一覧

三峰川総合開発工事事務所長表彰

★優良工事（成績優秀）

受賞企業	みらい建設工業株式会社 中部支店
受賞技術者	みらい建設工業株式会社 中部支店 都築 恭生（監理技術者）
件名	令和2年度 美和ダム再開発ストックヤード浚渫工事
工内内容	本工事は、美和ダム再開発事業におけるストックヤード施設に投入する土砂をダム湖内から浚渫するものである。（浚渫工1式、浚渫処理工1式、仮設工1式）
工期	令和2年10月10日～令和3年6月24日
表彰理由	ストックヤード施設にかかる初の浚渫工事であったが、情報化施工を活用し予定工期内で作業を完了させ、施設の試験運用開始に寄与した。また、安全意識向上のための掲示物設置や、工事内容を踏まえた安全教育の実施等、安全管理に関する取組も優れていた。

令和2年度 美和ダム再開発ストックヤード浚渫工事



浚渫の実施状況



ストックヤードへの投入状況

★優良業務（成績優秀）

受賞企業	一般社団法人パブリックサービス
受賞技術者	一般社団法人パブリックサービス 松葉 志郎（管理技術者）
件名	令和3年度 三峰川総合開発資料作成業務
業務内容	本業務は、三峰川総合開発工事事務所管内における業務に関する資料作成等を行うことにより、当該事務所の円滑な事業を推進することを目的とする業務である。
工期	令和3年4月1日～令和4年3月31日
表彰理由	令和3年度の出水における三峰川総合開発事業の効果を説明する資料作成において、わかりやすくかつ効果を理解しやすい資料を作成し、対外的な説明や広報に大きく貢献したため。

★協力企業

受賞企業	松原建設株式会社
受賞技術者	松原建設株式会社 山中 幸太郎（専任主任技術者）
受賞技術者	松原建設株式会社 麻生 俊之（有能技能者）
件名	令和2年度 美和ダム再開発ストックヤード浚渫工事
工内内容	本工事は、美和ダム再開発事業におけるストックヤード施設に投入する土砂をダム湖内から浚渫するものである。（浚渫工1式、浚渫処理工1式、仮設工1式）
工期	令和2年10月10日～令和3年6月24日
表彰理由	作業内容は浚渫した土砂をストックヤードに送泥するもので、現場条件により送泥の開始時期および完了時期ともに制限がある中、安全に留意しながら作業効率を向上させて施工を進めたことで、求められた工期内で作業を完了させた。

優良工事等表彰における有能技能者表彰の改定概要

表彰の目的

中部地方整備局発注の請負工事及び業務の成績等が優秀で顕著な功績を納めた企業並びに工事に携わった技術者及び技能者を表彰し、もって業務全体の意欲及びインフラの質の向上を図る。

技能者の役割と課題

- 建設業に関係する技術者は、地域のインフラ整備等の担い手であると同時に、災害時には最前線で地域社会の安全・安心の確保を担う地域の守り手として大きな役割を担っている。
- 一方で人口減少や少子高齢化が進む中、将来の建設業を支える担い手の確保が必要。(特に若手)

R3年度有能技能者表彰の概要

中部地整では他地整に先駆けて、やりがいなどの確保のため平成27年度から技能者の表彰を実施。表彰規定において有能技能者表彰の要件は、下記①及び②を満たしていることが条件。

- ①登録基幹技能士(10年以上の実務経験 + うち3年以上の職長経験 + 定められた資格)の資格を有していること
 - ②優良工事等表彰対象工事の職長として現場に従事していたこと
- ⇒有能技能者表彰は、熟練の技能者が対象となることなどから、40歳代以上が約9割を占め、有能技能者を推薦してきた企業は2割弱にとどまる。(R3年度表彰実績:28名/156工事)

企業アンケート実施

- ・品質向上等に貢献した20歳代・30歳代の若手技能者がいるため、表彰要件を緩和してほしい
- ・推薦したい技能者はいたが、登録基幹技能士を有していない
- ・若手技能者を表彰の対象とすることは賛成(賛成意見:85.9%)

※R3年度表彰受賞企業へアンケート(回収率:86.5%)

有能技能者表彰の改定

- ・若手技能者でも受賞が出来るよう「資格や経験」の要件を付さず、対象工事において貢献した内容に基づき、技能者を推薦、表彰できるよう見直し

⇒ R4年度表彰実績 114名/152工事 (R3年度 28名/156工事)

39歳以下の表彰者 R3:3人→R4:35人 (R3:10.7%→R4:30.7%)